



朝産振 第 463 号
平成19年 5月 7日

国土交通省道路局長 様

朝日町長 田代兼二



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について
(今後の道路政策や道路の整備・管理について)

標題の件につきまして、別添のとおり提出させていただきます。

事務担当

朝日町産業振興課 伊藤

tel 059-377-5658 fax 059-377-4543

※今後の道路政策や道路の整備・管理に関する意見



1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

特に優先度の高い政策は、以下の3項目と考える。

① 渋滞対策

交通渋滞は、時間の損失及び燃料効率の低下など、道路利用者にとって不経済であるとともに沿道環境・緊急車両の通行にも悪影響を与える。特に国道1号線桑名～富田間が頻繁に渋滞することから対策は必要である。

② ネットワークがつながっていない高速道路の整備

ネットワークを形成してこそ本来の機能を発揮できるものであるが、未だ欠落区間があり、十分に機能していない状況にあるため、整備促進が必要である。

③ 地域活性化や物流のため都市や交通拠点を結ぶ道路整備

地域物流や地域間の交流・形態に大きな役割を果たすものであり、それぞれの都市が、その地域の自然、歴史、文化等の地域資源を活用し、活性化を図る上で極めて重要な社会経済基盤であるため、整備促進が必要である。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

効率化を進める上で重視すべきは、以下の2項目と考える。

① 道路の建設や管理にかかるコストをもっと減らす努力をする

「規格・構造、施工・契約方法」「事業効果が早期に発現するような整備形態」「業務執行体制」等の徹底的な見直しが必要である。

② 現在ある道路をもっと有効利用する

利用者の様々なニーズに対応し、料金割引による一般道路からの交通の転換等を促進することにより、有効利用を図ることが必要である。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

地方には、公共交通機関が未発達で生活を自動車に依存している地域も多く存在し、地域住民にとって道路は、必要不可欠な生活基盤であり、単に採算性の問題で論じることができない。こうした地域のニーズを十分勘案し、地域間格差が更に拡大することがないように対策等を講じていただきたい。